

文化財の調査（仏画、その他、室町～江戸時代の絵画）

芸術学部

芸術学研究教育イニシアティブ学環

准教授 **城市 真理子** JOICHI, Mariko

教員情報

**キーワード**

日本美術史 中世絵画 近世絵画 文化財調査 地域の文化資源

研究シーズの概要

日本美術史を専門としており、特に中世から近世初期の絵画作品を研究しています。室町時代の水墨画・禅宗美術、中世の仏画のほか近世初期障壁画、江戸時代の絵画についても研究論文があります。広島地域の文化財調査を行っており、文化財指定となるような新出資料の調査・研究も実績があります。また、元は広島にあり、現在はアメリカの美術館の所蔵作品となっている桃山時代の絵画も発見しました。

研究シーズの詳細

◆研究例◆

美術館や寺院で所蔵等の文化財調査を、主に広島県とその周辺で行ってきました。特に、三原市にある佛通寺の襖絵は、当地の文化課と協力して調査し、三原市重要文化財に指定となり、令和7年には広島県重要文化財に指定されました。他にも、小早川隆景の新出の肖像画や桃山時代の屏風絵の調査・研究を行う事で、新たに文化財指定になっています。指定になる事で良質な保存修復の機会が生まれ、その地域の文化資本が豊かになる事に繋がります。また、文化財保存、美術館・博物館の運営についても協力できます。

近年の論文 令和4年「佛通寺所蔵 大通禅師(愚中周及)像の画賛解釈と図像」(『デアルテ』) 38号
令和4年「広島の文化財(美術)を学ぶ教育プロジェクト ―三原市・佛通寺所蔵「雲谷等顔筆 襖絵」を教材として―広島県重要文化財指定のニュースとともに」『広島市立大学芸術学部研究科紀要』25号
令和5年「佛通寺含暉院障壁画の「筆者問題」の検討」『デアルテ』39号
令和5年「佛通寺含暉院伝来の絵画 ―雲谷等顔筆障壁画を中心に―」『藝術研究』36号
令和6年「西福寺・三原市所蔵「護花鈴・並笛図屏風残闕」について」『藝術研究』37号
令和7年「広島の文化財(美術)を学ぶ教育プロジェクト ―三原市・佛通寺所蔵「雲谷等顔筆 襖絵」を教材として―広島県重要文化財指定のニュースとともに」『広島市立大学芸術学部研究科紀要』26号
令和8年「天正・文禄年間の「小早川隆景像」の制作状況 ―玉仲宗琇の画賛をてがかりに狩野派の肖像画制作を考察する」『デアルテ』42号

一般雑誌 令和元年「広島に息づく近世の名品 大通禅師(愚中周及)像」『Grande ひろしま』26号
令和2年「広島に息づく近世の名品 岡岷山 御許山勝興図」『Grande ひろしま』31号
令和3年「広島に息づく近世の名品 倣李唐牧牛図(牧童)・倣李唐牧牛図(渡河) 雪舟等楊筆」『Grande ひろしま』34号
令和4年「広島に息づく近世の名品 新たに見つかった 長沢蘆雪 飲中八仙図屏風」『Grande ひろしま』39号
令和6年「広島に息づく近世の名品 紙本金地着色「護花鈴図」 狩野派(西福寺・三原市蔵) ―玄宗と楊貴妃の遊ぶ庭園―」『Grande ひろしま』44号
令和7年「広島に息づく近世の名品 栗鼠図 伝徽宗筆 佛通寺蔵 ―無邪気で可愛い栗鼠たち―」『Grande ひろしま』49号

応用例・セールスポイント 自治体の文化財保護委員や博物館関係の委員等を引き受けてきています。

【問い合わせ先】 広島市立大学 地域共創センター 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1 (情報科学部棟別館1F)
TEL:082-830-1764 / FAX:082-830-1555 / E-mail:ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp